

地域に密着した仕事が一番

介護職員 本多 由香里

今年4月に町の人材育成事業等で入社しました。さわざくらの里・みずばしょうの里の両ユニットで働かせて頂いています。私は派遣社員として工場などで働かせて頂いたり、アルバイトで様々な職種に就いたこともありました。一年ほど前までは弱電の工場ですっと働きたいと思っていましたが、アルバイトをしながら仕事を探しているうちに、地元地域に密着した仕事ができればという想いがきっかけとなり、バルムなかにいだに入社するまでに至りました。

入社してから3ヶ月が経ち、両ユニットの利用者様に顔を覚えて貰えるまでになりました。仕事も、一緒に働かせて頂いている職員の方々に教えて頂きながら、少しずつではありますが、覚えてきました。これからも皆様に助けを頂きながら、成長していけたらと思っています。

10年の経験を日々のケアに

介護職員 石川 春美

皆さん、初めまして。私は、4月から「みずばしょうの里」で働かせて頂いております。介護職への道を志したのは、高校生の時でした。介護制度が、措置から契約へ移行する必要性が目立って、需要と安定感のある職業だと考えたのです。

また、祖母に育ててもらった恩返しにもなると思い、決心しました。専門学校で介護福祉士資格を取得後、特養で6年の下積みをし、この経験を活かしたく、グループホームへ転職しました。ここでは、3年7ヶ月間、ケアマネジャー資格取得の勉強をしながら、知識・経験ばかりでなく、知恵も養うことができました。

父の死を期に、一旦は離職しなければなりませんでしたが、周囲の皆様の御陰で、再び、この職業に就けた事を、幸せに思っています。大変感謝しております。今年で、介護職に就いて10年目を迎えます。これまでに、沢山の方と様々な出会いと別れがありました。何を教わり、何を学んだのか、節目に当たって振り返り、日々のケアに努める所存です。

《6月の行事》

6月11日 芍薬祭り

色麻町愛宕山に一面に広がる芍薬を見に行きました。



6月20日 父の日

当日の昼食会でプレゼントをお渡しし、記念撮影をしました。

6月27日 ハリマセンター祭り

バーベキューやお好み焼きなど沢山のご馳走をいただきました。

